

松前中に設置されたサポート
ルームの利用状況と増設予定は

利用登録8人
町内の他の中学校にも
設置予定

問

令和6年度から松前中学校に
設置した校内サポートルームの
利用状況は。また、他の小中学
校に増設予定は。

答

現在、不登校児童生徒数は56人。
令和6年度から松前中学校に設
置した校内サポートルームの利用
登録は8人。ほぼ毎日利用し
ている生徒が6人。県の適応支
援教室やフリースクールを中心
に併用しながら利用している生
徒もいる。町内他の中学校にも
設置するよう調整中。



池田 幸子
議員



フリースクールなどに通う児童
生徒への補助制度を設けては

今のところ補助を行う
ことは考えていない

問

不登校児童生徒にとつての心
地よい教育環境は多様であるた
め、他の自治体のなかには民間
フリースクールへの通学補助を
行っているところがある。補助
制度を設ける意向は。

答

現在、学校外のサポートルーム
や教育支援センターの設置に向
けて検討しており、フリースク
ールへ通う児童生徒への補助を行
うことは考えていない。

ただ居場所や制度をつくるだ
けでなく、実際の声を施策に
反映できるよう検討委員会を
設置して、誰ひとり取り残さ
ない教育支援体制を。

キントーン・RPAの活用
で財務書類の内製化は

今のところは考えていない

問

役場の業務改善のため、キン
トーンとRPAの活用教育は。
令和3年度から5年度にかけ
て階層別のハンズオン研修を随
時実施した。

答

今年度は、キントーンやRP
Aをはじめとした各種ツールの
活用を促進するため、各課にお
いて業務の担当者に対して対面
での伴走型支援を行っている。
また、グループウェア上にキン
トーン活用サイトを作成して、
職員への情報発信も行っている。
ただ、キントーンの標準機能
は会計業務用ツールとしての活
用には向いていないため、今の
ところは考えていない。



影岡 俊範
議員



今後、増大する使用済み
紙おむつの資源化は

資源化に向け、引き続
き研究していく

問

今後、年々排出量が増加傾向
にある使用済み紙おむつの資源
化に向けた本町の取組は。

答

本町は、資源化が有効との認
識はあるが、様々な理由により
資源化には至っていない。
今後も、リサイクル業者や他
市町の動向を注視しながら、引
き続き研究していく。

使用済み紙おむつなどの有機
系ごみを分別せず、丸ごと処
理できる「低熱分解型アップ
サイクルユニット」を研究し
てはどうか。